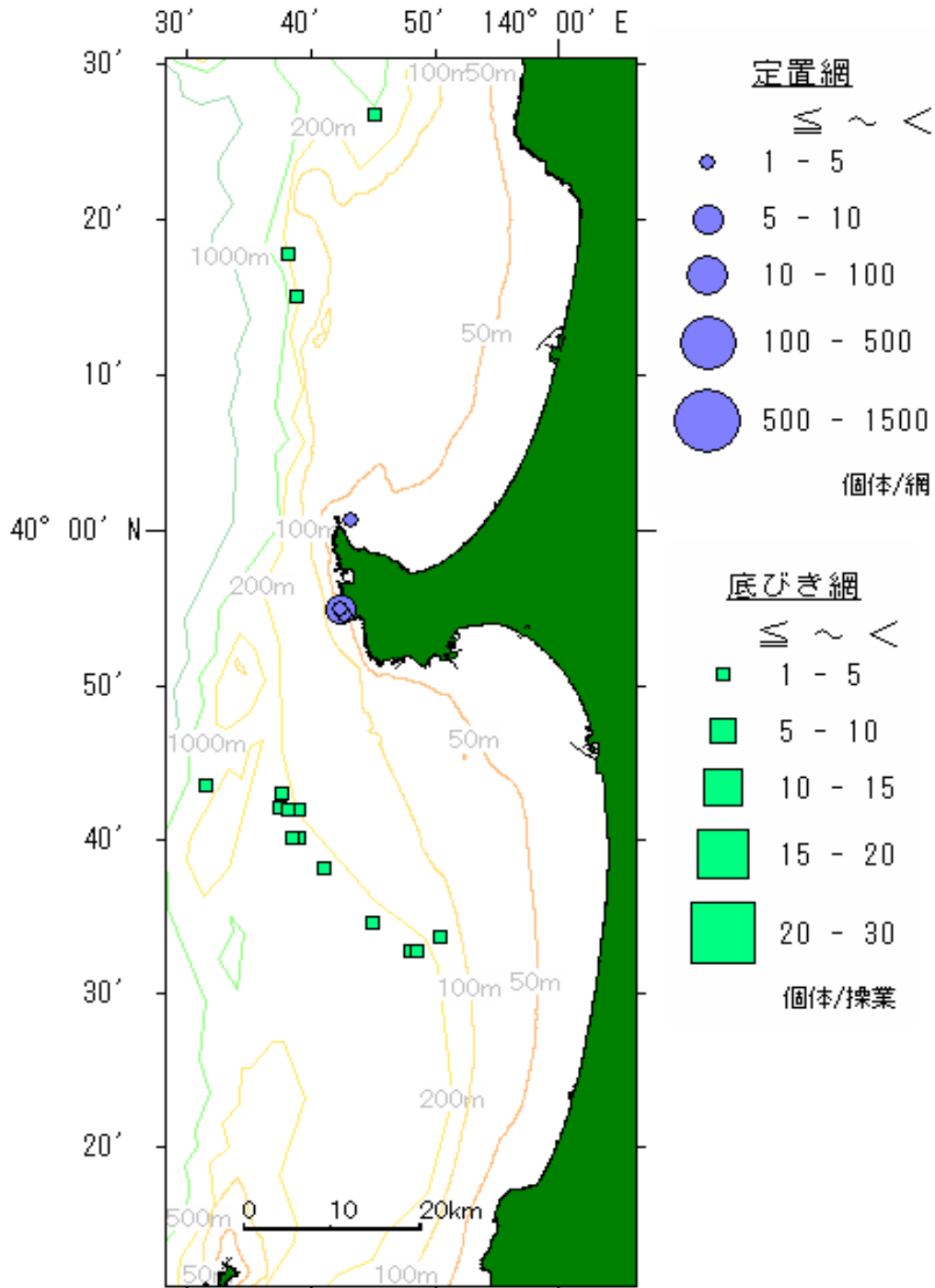


大型クラゲ出現情報 (平成24年10月23日～31日)

1 網当たりの入網数は、定置網、底びき網ともに0～数個体程度で推移しています。



水産総合研究センターによる情報（10月26日発表）

出現情報

10月24日に実施した対馬海峡での目視調査では、西水道を中心に大型クラゲの出現が認められましたが、出現量は10月10日の調査時に比べて低下しています。大型クラゲ分布調査では、対馬海峡～日本海西部で大型クラゲの分布が目視されたものの、東シナ海ではほとんど確認されませんでした。また、大型クラゲ採集用トロール網を用いた調査では、山陰西部～津軽海峡～三陸沖で大型クラゲの採集はありませんでした。

出現予測

対馬海峡において大型クラゲの分布量は低下していること、および東シナ海～黄海での大型クラゲの分布密度も大きく低下していることから、日本海への流入量は今後低下すると考えられます。日本海および三陸沿岸においては、沖合域での分布密度が低いことから大量に出現する可能性は低いものの、今後も引き続き大型クラゲが出現すると考えられます。

資料：(独)水産総合研究センターのホームページ